

—南アルプス 積雪期岩稜—

「鋸岳」

2010年3月27～29日

L 後藤 西村 (文) 他1名

積雪期に一度は登りたかった鋸岳、今回は武智鉱泉から車で釜無川林道に入り、鋸岳から甲斐駒ヶ岳、黒戸尾根縦走を考えた。結果は、残念ながら甲斐駒までは届かなかったが、雪の鋸岳岩稜を充分味わう充実した山行となった。

<27日> 晴れ

釜無川林道ゲートから登山口に向かって延々と歩く。林道に雪は全くないが単調な林道歩きは、ほとんど疲れる。ダム工事の車両が何台も我々を追い抜いて行く。思わず「乗せてくれ～」と叫びたくなる。大昭和製紙飯場跡まで3時間歩いて漸く登山口に着いた。夏の標準時間より少し遅れ気味だ。

登山道脇にある富士川水源標柱などを見ながら、うっすら雪の積もった一般道をひたすら登る。標高2000^{くらい}でアイゼンを装着。計画では横岳峠経由だが、途中はしょって大崩ノ頭上に出る。快晴の下、白銀に輝く仙丈ヶ岳、間ノ岳、北岳、甲斐駒などが美しい。

予定では角衛兵沢のコルが今日のテン場だが、長時間の行動で大分あごが出てきたので、三角点少し手前の標高2600^{くらい}に張ることにした。

<28日 曇り 時々小雪>

天気予報を聞いて悲観的になってい

たのだが、予想に反して意外と晴れている。今山行のメイン、鋸岳の荒々しい稜線が眼前に聳え登攀意欲を駆り立てる。テン場から20分で三角点を通過、7:20 角衛兵沢のコル着、さあこれからが今回の核心だ。

コルから第1高点まではノーザイルで登るが、所々下までスパッと切れ落ちており慎重に登る。8:00 第1高点である鋸岳頂上に立つ。第1高点から小ギャップへの懸垂で最初のザイルを出し、2ピッチ目は鹿穴のトンネル上の急な雪壁を登る。第3高点から大ギャップ懸垂まで3ピッチ出し、計5ピッチで漸く大ギャップ下のコルに達した。6ピッチ目はコルから第2高点への登り返し、7ピッチ目は中ノ川乗越への急なルンゼの下りで出した。総じて登りも下りも支点が豊富で技術的には難しくはないが、所々凍った雪の上でうっすら雪が乗っており、ひやっとすることが間々あった。当たり前なことであるが「ここでこけたらどうなるか」を判断しながら、臨機応変に行動することが大切である。

14:50 中ノ川乗越着。積雪の多さ、天候の悪化等から甲斐駒への縦走は諦め、ここから熊ノ穴沢を降り、戸台へ抜けることに決定。水を求めて熊ノ穴沢の長大なガレをひたすら下る。3時間近くガレを下って漸く熊ノ穴沢出合上、標高1400mの地点に格好のテン場を見つけた。今日は朝から11時間以上行動した計算だ。

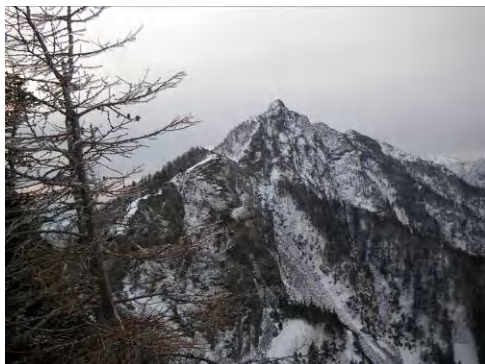
< 29日 曇り >

戸台川沿いの登山道を下り、戸台大橋からタクシーに乗る。高遠町から入笠山の西麓をぐるっと回る形で国道152号から国道20号経由で車を回収し帰路につく。

今回、甲斐駒までの縦走は叶わなかったが、念願の雪の鋸岳を登ることができ、心身共に充実した楽しい山行であった。積雪期、ぜひお勧めのコースである。

<コースタイム>

釜無川林道ゲート — 3時間 — 大昭和製紙飯場跡 — 6時間 — テン場(標高2600m) — 1時間40分 — 第1高点 — 5時間30分 — 第2高点 — 1時間 — 中ノ川乗越 — 2時間40分 — 熊穴沢出合上テン場(標高1400m) — 4時間 — 戸台大橋



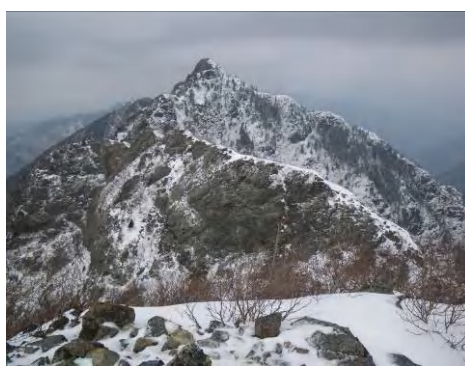
テン場より第一高点を望む



第一高点 (鋸岳頂上)



力づくで登る



第二高点より第一高点を望む